



高樹 レイ (vo)

'24 Kansai / Shikoku Tour

Kyoto / Itami / Osaka / Takamatsu / Shimanto / Kochi

2024年 高樹レイ 関西/四国ツアー

ワールドクラスのジャズシンガー高樹レイが
日本jazz界の至宝、“ミュージッシャン’sミュージッシャン”
寺井豊、竹田一彦と新世代人気ギタリスト浅利史花との
夢の共演が実現!!
jazzの歴史と未来で紡ぐ珠玉のスタンダードでの
怒涛の6DAYS TOUR LIVE!!



浅利 史花
(guitar)



寺井 豊
(guitar)



山本 久生
(bass)



竹田 一彦
(guitar)



宮脇 裕子
(trumpet)

京都

5/7(Tue) Open 19:00 / Start 19:30

高樹レイ(vo)・寺井豊(gt)・山本久生(bs)・ゲスト:竹田一彦(gt)

le club jazz (ル・クラブジャズ)

京都市中京区三条御幸町角三条ありもとビル2F

web.kyoto-inet.or.jp/people/ktsin

予約:¥4,500 当日:¥5,000



兵庫県
伊丹

5/8(Wed) Open 17:30 / Start 18:00

"Jazz Guitar Summit of Two Masters and a Rising Star"

寺井豊(gt)・竹田一彦(gt)・浅利史花(gt)・山本久生(gt)

スペシャルゲスト:高樹レイ(vo)

東りいたみホール (伊丹市立文化会館)

兵庫県伊丹市宮ノ前1-1-3

https://itami-cs.or.jp/itamihall/

MC予約 大人:¥4,000 大学生:¥3,000 高校生:¥2,000

中学生:¥1,000 ※予約なしは +¥500

予約メール rei.moritat@gmail.com



梅田

5/9(Thu) Open 18:00 / Start 19:30

高樹レイ(vo)・寺井豊(gt)・山本久生(bs)・ゲスト:浅利史花(gt)

JAZZ ON TOP (ACT Ⅲ店)

大阪市北区堂山町15-17 ACT Ⅲ 1F

https://www.jazzontop.com

予約:¥4,400 当日:¥4,950



高松

5/10(Fri) Open 19:00 / Start 19:30

高樹レイ(vo)・浅利史花(gt)・宮脇裕子(tp)・野崎英幸(b)

jazz & bar SO NICE (ソーナイス)

香川県高松市丸亀町9-7 杉山ビル2F

https://ameblo.jp/sonice72/

MC予約:¥4,000 当日:¥4,500 + オーダー

お問合せ:090-8974-9210



高知県
四万十

5/11(Sat) Open 18:00 / Start 18:30

高樹レイ(vo)・浅利史花(gt)・西村公孝(b)

CASA de FLORES 風雅

高知県四万十市中村桜町45-7

https://fuga-shimanto.com/

MC予約:¥4,000 当日:¥4,500 + オーダー

ご予約:0880-34-1690



高知

5/12(Sun) Open 18:00 / Start 18:30

高樹レイ(vo)・浅利史花(gt)・高崎元宏(pf)トリオ

pub lounge TOWN

高知市追手筋1-5-4 ロイヤルビル5F

http://x67.peps.jp/publoungetown

MC予約:¥4,000 当日:¥4,500 + オーダー

ご予約:088-825-3597



6days
Special Week
Tour!

高樹 レイ (vo) TAKAGI REI



<https://www.reitakagi.com/>

キャリア30年のワールドクラスのジャズ・シンガー

日本全国のみならず、欧州でも活躍する本格派ジャズシンガー。

カメラータウキョウから4枚のリーダーアルバム「Now Hear This!!」「Here's That Rainy Day」「Live in ウィーン」「After Hours」を発表。日本と欧州で発表、活動。オーストリア/ウィーン「JAZZLAND」でのライブの様態を収めたライブ盤作品は日本人ジャズシンガー初。

2015年には6枚目の新譜「DUO-one」をUplift Jazz Recordより発売。日本ジャズギター界のレジェンド中牟礼貞則とのデュオ作品。空間が見事にジャズとなる究極の作品が誕生した。このDUO-oneはDUOシリーズとしてスタートした第1作目。

'16年秋にはDUOシリーズの2作品目、「DUO-two」が同レーベルより発売された。この作品は鬼才ピアニスト伊藤志宏との非常に斬新なデュオ世界。変拍子や即興等でその場で名曲バラードを構築。類似希な理想のデュオの形を追求した作品。

DUOシリーズラスト、「DUO-three」を'18年1月30日に発売。この作品は織原良次フレットレスベースとのラストに相応しい様々な情景が見えてくる作品。W.ShorterやH.Hancock等の名曲ボーカリーズを唯一無二で表現した作品。

'21年3月19日、9thアルバム【LIVE!! in Jazz 2004】を a Taste of JAZZ より発売。この作品はアンコール2曲を入れて11曲のライブ収録。'04年、今は無き 福岡 Blue Noteでの2Days(3/19(金) 3/20(土))ライブの初日のFirst-stageの様態をそのまま編集せずバックアップしたライブ盤。通常のスタジオ録音とは違う当時のその一期一会のライブ感(Show!)が楽しめる作品。

'22年10月1日、10thアルバム【武満徹Songs/ANNIVERSARY】を発表。こちらは高樹のユニットとしての第一弾作品。

武満徹楽曲のみをキャリア初の日本語歌詞にてジャンルを超えて追求した貴重な作品で、歌、ギター、ハーモニカが奏でる三位一体の見事なアートとなっている。各方面で絶賛され、現在精力的に活動中。

浅利 史花 (gt) ASARI FUMIKA



新世代ジャズシーンを代表する人気ギタリスト

福島県福島市生まれ。高校在学時より部活動(ジャズ研究部)でギターを始める。

2012年、大学進学に伴い上京。在学時より演奏活動を始める。

'15年、ギブソンジャズギターコンテスト決勝進出。

'20年、待望の1stアルバム「Introducin」をリリース。アマゾンジャズチャートデイリーで連日1位を獲得し多方面から注目される。

'23年、2ndアルバム「Thanks For Emily」をリリース。

国内女性ギタリストのトップランナーとしての新たな立ち位置を確立すべく、これまで以上にジャズライブシーンでの活躍が期待されている。

寺井 豊 (gt) TERAI YUTAKA



関西ジャズ・ギターの至宝

1933年9月24日生まれ。京都府出身。10代の頃から進駐軍の将校クラブでギターの演奏を始める。

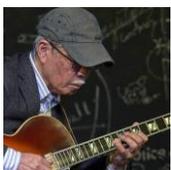
教則本もない時代、ジャズギターのレコードを師とした。モダンジャズの祖の一人チャーリー・クリスチャンの影響を受け、さらにギターの名匠バーニー・ケッセル、ジム・ホール、ウェス・モンゴメリーらを聴いて、独自のスタイルを発展させた。

北野タダオ&アロージャズオーケストラを経て、地元京都中心に60年以上に及ぶ演奏活動で寺井伝説は数知れない。その演奏は即興性を重視しながら、ストレートで奇をてらわない。繊細で奔放。レガート・フレーズを主体としたメロディックなアドリブは絶品。

'97年に64才にて初リーダー作を発表。現在も頻繁にライブを行う。多くのギタリストが敬愛し、「関西ジャズ・ギターの至宝」と呼ばれている。愛用のギターはGibson L5ほか。

主なリーダー作:「Old & New」('97年)、藤井貞泰&寺井豊「蘆花」('02年)、寺井豊&竹田一彦「16 Strings 30 Fingers Live At Jack Rose」('05年)

竹田 一彦 (gt) TAKEDA KAZUHIKO



日本が誇るギターレジェンド

1936年生まれ。奈良県出身。'60年頃から自己のバンドを率い、関西中心に活動。'75年、古谷 充のアルバム「SOLITUDE」に参加。'85年、アルバム「GOOD LIFE」をリリース。

'92年から西山満のグループに参加。以後彼と共に日野皓正グループ、ハンク・ジョーンズ・トリオ、エディ・ハンダーソン、カルテットなど多数のコンサートやライブハウスに出演。'98年、「ジャズギター紳士録」(キングレコード)に参加。

'99年、サンディ・ブレア(Vo)とのコラボレーションアルバム「Sandi Blair Meets Kazuhiko Takeda」をリリース。

'05年、寺井豊(gt)、上山崎初美(b)とのコラボレーションアルバム「16 strings 30 fingers」をリリース。

'09年、リーダーアルバム「KAZUHIKO TAKEDA Live at JUST IN TIME」をリリース。

'13年7月、Kazuhiko Takeda Trio 「I Thought About You」をリリース。

山本 久生 (b) YAMAMOTO HISAO



関西ジャズ・ベース界注目の中堅ホープ

1976年7月28日生まれ。京都市在住、立命館大卒。蓑輪裕之氏にコントラバスと音楽理論を師事し、ニューヨークでマルコパナシア氏に指導を受ける。

'11年にトニー・サッグストリオ(カウントベイシーオーケストラ)のツアーに参加。北村英治、日野皓正、デューク・エリントン楽団のstufford hunter等、国内外の著名プレイヤーと共演。

'50年代のジャズシーンでポピュラーだったコントラバスの音色に拘り、ジャズの伝統と新しい事を組み合わせて自分の音楽を追求している。

宮脇 裕子 (tp) YUKO MIYAWAKI



ライブシーンに於けるトランペットのトップランナー

香川大学大学院卒、同大学ジャズ研究会出身。2007年10~11月、バルコプロデュース・松尾スズキ演出ミュージカル「Cabaret」に参加。

'07~'08年、鈴木勲OMA SOUNDにて都内~地方ツアーに参加。'11年1月、Coume Musicより高内春彦プロデュースによるファーストアルバム「Song Of Flower」をリリース。

'19年に地元香川へ帰郷。現在は中四国を中心に演奏活動をするかたわら、Nomad Music Schoolトランペット講師、ヤマハトランペット認定講師を務める。